

(別紙様式)

令和3年度 ICT活用実践研究 実績報告書

所属校園	附属旭川小学校		形態	■ 個人 □ 団体・グループ	
研究代表者 (申請者)	氏名		職名	備考(分担等)	
	小原 広士		教諭		
研究分担者 (団体・グループの場合)					
研究題目	総合的な学習の時間における情報機器や情報ネットワークの活用の在り方 ～情報活用能力の獲得を目指して～				
経費支出内訳					
事項	単価 [円]	員数	金額 [円] (消費税込)	備考 (内訳・特記事項等)	
〔消耗品費〕	2,475	1	2,475	フレキシブル三脚	
	1,738	3	5,214	タブレットホルダー	
	4,334	3	13,002	カメラ三脚	
			-691	※配分額を超える分については 附属学校運営費から支出	
		合計	20,000		

～研究実績の概要、得られた成果・効果等～

【研究概要】

実践時期は令和3年6月から令和4年2月、対象は北海道附属旭川小学校第4学年35名にて実践を行っている。単元名は「『常磐公園調査隊』」とした。

新型コロナウイルスの影響により、旭川市の観光客の減少は免れない状況だと知った児童は「動画を配信して旭川市を元気にする」という目的に向かって学習活動を進めた。動画配信の場所を都市公園100選に選ばれている「常磐公園」に決定した後、一人一台タブレット端末を持って調査活動を行った。その後、動画のシナリオづくりに取り組み、それをもとに撮影を行った。映像を動画編集ソフトで編集し、6本の動画を作成した。完成した動画を保護者に視聴してもらい、動画の「良かったところ」「改善すべきところ」をWebによるアンケートフォームで募り、それらを参考にして動画を改善した。完成動画は、令和3年12月24日から、旭川観光コンベンション協会、公益財団法人旭川市公園緑地協会HPで公開した。

【研究目的】

グローバル化や情報化が急速に進展し、社会生活のあらゆる場面でインターネットやデジタルツールが必要不可欠となっている。それらの背景から、情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力等と並び、児童・生徒の日々の学習や、生涯にわたる学習の基盤となる資質・能力として位置付けられている（平成29年告示小学校学習指導要領）。これらを受け、指導者は、各学校段階を通じて上記の能力を体系的に育てていくことが求められている。小学校学習指導要領解説（平成29年度）総合的な学習の時間編では、探究的なプロセスにおいて情報機器や情報通信ネットワークを有効活用して、総合的な学習の時間を充実させるとともに、児童にとって必然性のある探究的な学習の文脈でそれを活用する中で、情報活用能力を獲得させ、将来にわたり全ての学習の基盤となる力として定着させていく必要があると述べている。そこで本研究では、情報活用能力の獲得を目指した情報機器や情報通信ネットワークの活用の在り方について提案する。また、情報活用能力を測定する支援サイトを活用し、児童が情報活用能力を獲得できたかどうかを検証する。

【研究方法】

- ・総合的な学習の時間における情報活用能力の獲得を目指した情報機器や情報通信ネットワークの活用の在り方について検討する。
- ・情報活用能力を測定する支援サイトを活用し、児童が情報活用能力を獲得できたかどうかを検証する。

【研究の内容】

1 総合的な学習の時間におけるICTを活用した授業

授業のゴールを「旭川市の自慢を調査し、YouTuberになって発信しよう！」と設定し、情報機器やソフトを活用するほか、専門家や市民へのインタビュー等を実施することで、説得力のある情報発信を目指した。

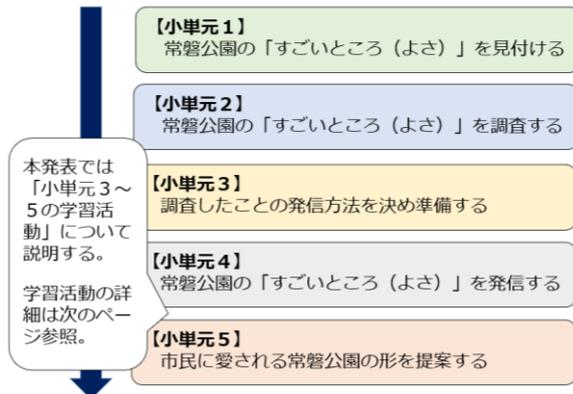
また、作成した動画について、多方面から意見を聴取して改善を加えることで、市民に見ていただける内容・構成となるよう工夫するなど、学習を通して情報活用能力の育成を図った。

情報機器としてiPadを使用した。また、主にロイロノート・スクール、iMovie等を活用しながら、動画を作成し、完成動画をYouTubeで公開した。

2 単元構成と育成を目指した「情報活用能力」

本単元は、95時間扱いとし、児童は、ほぼ1年間をとおして探究活動に取り組んだ。取材や動画の編集等は児童がグループに分かれて行い、カメラの操作、動画ソフトを使用した動画編集などについては、外部講師の指導を受けながら、自分たちの力で実施した。

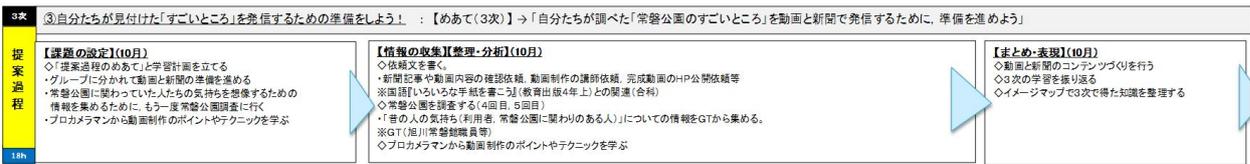
【令和3年度単元構成】(95時間)



分類		ステップ2(小中学校中学年)		
A	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技術	①情報に関する技術	a キーボードによる文字の正しい入力方法 b 映像編集アプリケーションの操作 d インターネット上の情報の閲覧・検索	
		②情報と情報技術の特性の理解	a 情報の基本的な特徴 d 身近な生活におけるコンピュータの活用	
		2 問題解決・探究における情報活用方法の理解	①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	a 調査や資料等による基本的な情報の収集の方法 o 考えと理由、全体と中心などの情報と情報の関係 d 情報の比較や分類の仕方 f 情報の特徴、傾向、変化を捉える方法 g 自他の情報を組み合わせて表現する方法 h 相手や目的を考慮したプレゼンテーションの方法
			②情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解	a 目的を考慮して情報活用の見直しを立てる手順 b 情報の活用を振り返り、改善点を見いだす手順
			③情報技術の役割・影響への理解	a 情報社会での情報技術の活用
	B	3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	①情報モラル・情報セキュリティの理解	a 自らの情報や他人の情報の大切さ o 生活の中で必要となる基本的な情報セキュリティ e 情報の発信や情報のやりとりする場合の責任
			②情報モラル・情報セキュリティの理解	a 自らの情報や他人の情報の大切さ o 生活の中で必要となる基本的な情報セキュリティ e 情報の発信や情報のやりとりする場合の責任
		4 思考力、判断力、表現力等	1 問題解決・探究における情報活用方法の理解	収集した情報から課題を見つけ、解決に向けた活動を実施するために情報の活用を見直しを立て、実行する 調査や資料等から情報を収集し、情報同士つながりを見つたり、観点を決めた簡易な表やグラフ等や資料した「考える技法」を用いて情報を整理する 情報を抽象化するなどで全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見いだす 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する 自らの情報の活用を振り返り、手順の組み合わせをどのように改善していけば良いかを考える
			①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力(プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)	等
			②新たな一や価値を創造する力 ③受け手の情報を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力	等
C	5 学びに向かう力、人間性等	1 ①多角的に情報を検討しようとする態度	a 情報同士つながりを見つけようとする b 新たな観点を受け入れて検討しようとする	
		2 ①責任をもって適切に情報を取扱うとする態度	a 目的に応じて情報の活用の見直しを立てようとする o 情報の活用を振り返り、改善点を見いだそうとする b 自らの情報や他人の情報の大切さを踏まえ、尊重しようとする	
	2 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	①責任をもって適切に情報を取扱うとする態度	a 自らの情報や他人の情報の大切さを踏まえ、尊重しようとする b 情報の発信や情報のやりとりする場合にはルール・マナーがあることを踏まえ、行動しようとする	
		②情報社会に参画しようとする態度	a 情報通信ネットワークを協力して使おうとする b 情報や情報技術を生活に活かそうとする	
		③情報社会に参画しようとする態度	a 情報通信ネットワークを協力して使おうとする b 情報や情報技術を生活に活かそうとする	

「常磐公園調査隊」の実践について

【小単元3】調査したことの発信方法を決め準備する



- ・実際に常磐公園を散策したり、緑地協会の方から話を聞いたりしながら、児童自身が常磐公園の魅力に気付き、「発信したい」という気持ちを高めた。
- ・映像制作の専門家の指導を受け、動画撮影の基本について学んだ。

「常磐公園調査隊」の実践について

【小単元4】

常磐公園の「すごいところ（よさ）」を発信する

4次	④常磐公園の「すごいところ」を発信しよう！：【めあて(4次)】→「動画と新聞を完成させよう」		
達成過程	【課題の設定】(10月) ◇「熟成過程のめあて」と学習計画を立てる ◇常磐公園で動画撮影を行う ◇プロカメラマンから制作動画の改善点を学び、修正する ◇アンケートフォームで保護者から動画と新聞の改善点を募る ◇動画と新聞を完成させる	【情報の収集】(整理・分析)(10月・11月・12月) ◇常磐公園で動画撮影を行う ◇プロカメラマンから制作動画の改善点を学び、修正する ◇アンケートフォームを使って、制作動画と新聞のプラス面(よい点)、マイナス面(改善点)について調査する ◇アンケートフォームの回答を整理・分析し、制作動画と新聞の改善点を明らかにし、修正する	【まとめ・表現】(12月) ◇動画と新聞を完成させ、HPで公開する ※旭川観光コンベンション協会と旭川市公園緑地協会HPにて公開(2021年12月24日) ◇4次の学習を振り返る ◇イメージマップを用いて4次で得た知識を整理する ◇旭川市役所職員から依頼を受け、単元のゴールを設定する
22h			

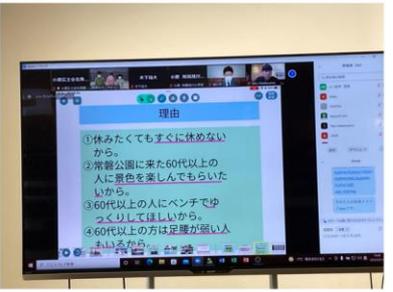


「常磐公園調査隊」の実践について

【小単元5】

市民に愛される常磐公園の形を提案する

5次	⑤市民に愛される常磐公園の形を提案しよう！：【めあて(5次)】→「100年後も旭川市民に愛され続ける常磐公園を目指して、今の公園をよりよくするためのアイデアや企画を考え提案しよう」			
表現過程	【課題の設定】(12月) ◇表現過程のめあて」と学習計画を立てる ◇街頭インタビューで、旭川市民に常磐公園の「よいところ」や「改善してほしいところ」を聞く ◇公園の人気の公園について調べる(冬休み中) ◇常磐公園をよりよくするためのアイデアや企画を考え、旭川市長に発表する	【情報の収集】(整理・分析)(12月) ◇街頭インタビュー(旭川駅前道、旭川市役所周辺、常磐公園周辺)を行う ◇1年間で、常磐公園に行く回数(インタビュー内容) ◇常磐公園のよいところ、改善してほしいところ(インタビュー内容) ◇街頭インタビューで収集した情報を整理・分析する	【情報の収集】(整理・分析)(1・2月) ◇各都府県の人気の公園について調査し、人気の理由を明らかにする(冬休みの宿題) ◇グループ毎に人気の公園の共通点を明らかにする ◇グループ毎に明らかにした共通点を全体で交流し、各都府県の人気公園の共通点や、常磐公園との相違点を明らかにする	【まとめ・表現】(2月) ◇常磐公園をよりよくするためのアイデアや企画を考え、旭川市長に発表する ※新聞に掲載されたことを発表しよう【教育出版4年下】との関連(合科) ◇これまでの学習を振り返る ◇イメージマップを用いて4次で得た知識を整理する
21h				



【成果・効果】

学校学習指導要領解説(平成29年度)総合的な学習の時間編では、探究的なプロセスにおいて情報機器や情報通信ネットワークを有効活用して、総合的な学習の時間を充実させるとともに、児童にとって必然性のある探究的な学習の文脈でそれを活用する中で、情報活用能力を獲得させ、将来にわたり全ての学習の基盤となる力として定着させていく必要があると示されている。

しかし、情報機器や情報通信ネットワークを活用した総合的な学習の実践は、全国的に見てもまだ多くない。また、それらを活用したことによって、児童が情報活用能力を獲得できたかどうかの検証に取り組んでいる学校も少ない。

このような実態から、本研究は、総合的な学習の時間における情報機器や情報ネットワークの活用の在り方を検討したり、児童が情報活用能力を獲得できたかどうかについての検証方法を選択したりする際の一助になる成果を発信することができた。